

富山高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	校内練習船実習Ⅱ
科目基礎情報					
科目番号	0085		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	実験・実習		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	商船学科		対象学年	2	
開設期	通年		週時間数	1	
教科書/教材	乗船実習ノート、専門教科で使用中の教科書、はじめての船上英会話 (海文堂)				
担当教員	中松 英也				
到達目標					
1. 操舵号令を理解し、発令、復唱及び操舵ができること。 2. 入出港部署の号令を理解し、甲板作業が安全にできること。 3. 交叉方位による船位を求めることができること。 4. 気象観測及び日誌記注ができること。					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	操舵号令を十分理解し、発令、復唱及び操舵が確実にできる。		操舵号令を理解し、発令、復唱及び操舵ができる。		操舵号令を理解できない。
評価項目2	入出港部署の号令を十分理解し、甲板作業が安全にできる。		入出港部署の号令を理解し、甲板作業が安全にできる。		入出港部署の号令を理解できない。
評価項目3	交叉方位による正確な船位を求めることができる。		交叉方位による船位を求めることができる。		交叉方位による船位を求めることができない。
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	練習船による乗船実習、停泊時の夜間講義				
授業の進め方・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・学事日程に定められた日程で実施する。 ・実習1週間前に各自に実施要項を配布する。 ・乗船実習ノート、電卓を必ず持参すること。 				
注意点	<ul style="list-style-type: none"> ・必ず乗船すること。欠席する場合はその理由を担任に連絡すること。 ・乗船しなかった場合は、不認となり進級できないことになる。(学生便覧必読) ・所定の理由書を提出して欠席した者については、後日乗船の日時を指示する。 				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	実習内容の説明 (前期乗船実習 1泊2日)	実習内容を理解する	
		2週	船橋、船首及び船尾部署の入出港準備及び作業要領	各部署での入出港準備及び作業を行う	
		3週	係船機取扱い要領	係船機を取り扱う	
		4週	船内号令詞、操舵号令詞、機関号令詞	船内号令詞、操舵号令詞、機関号令詞を復習する	
		5週	係船索の名称と使用方法	係船索の名称と使用方法を学ぶ	
		6週	航海計器の名称型式及び操作法	航海計器の名称型式及び操作法を調べる	
		7週	同上	同上	
		8週	同上	同上	
	2ndQ	9週	同上	同上	
		10週	ドップラーソナー及び音響測深機操作法	ドップラーソナー及び音響測深機操作法を知る	
		11週	船橋当直	船橋当直を行う	
		12週	気象観測、見張り及び報告要領	気象観測、見張り及び報告要領を実践する	
		13週	海図の見方及び使用方法	海図の見方及び使用方法を学ぶ	
		14週	陸上物標による船位測定法	陸上物標による船位測定法を実践する	
		15週	停泊当直	停泊当直を行う	
		16週	期末試験	成績評価、確認	
後期	3rdQ	1週	実習内容の説明 (後期乗船実習 1泊2日)	実習内容を理解する	
		2週	船橋、船首及び船尾部署の入出港準備及び作業要領	各部署での入出港準備及び作業を行う	
		3週	同上	同上	
		4週	船内号令詞、操舵号令詞、機関号令詞	船内号令詞、操舵号令詞、機関号令詞を復習する	
		5週	同上	同上	
		6週	船橋当直	船橋当直を行う	
		7週	同上	同上	
		8週	航海当直交代の引継ぎ	航海当直交代の引継ぎを行う	
	4thQ	9週	六分儀の取扱い及び太陽高度の測定	六分儀の取扱い及び太陽高度の測定を学び実践する	
		10週	同上	同上	
		11週	レーダの操作、映像の判読及び船位測定法	レーダの操作、映像の判読及び船位測定法を学ぶ	
		12週	潮汐、潮流の求め方	潮汐、潮流の求め方を学ぶ	
		13週	太陽及び月の出没時間の算出	太陽及び月の出没時間算出を学ぶ	
		14週	夜航海、夜間当直体験		
		15週			
		16週			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

